

進藤氏へ公認・推薦証を交付

自民党大会 参院選へ一致結束

3月13日に東京都内で開かれた第83回自由民主党大会において、参議院選挙公認・推薦候補者の紹介が行われた。



颯爽と登場する進藤氏 (参院選公認・推薦候補者の紹介で)

選挙公認・推薦候補者の紹介が行われた。



交付後、安倍首相と握手を交わす

金日子(かねひこ)氏は、両拳を突き上げ颯爽と登場、党総裁の安倍首相と固い握手を交わした。党大会終了後、別室で公認・推薦証の交付式が行われ、安倍首相から進藤氏に手渡された。交付後、進藤氏は安倍首相との写真撮影に臨んだ。党大会では、「新たな挑戦、躍動する日本へ」を掲げ、党務報告等が行われた。28年党運動方針では、今後も力強く成長を続けられるよう

「戦後最大のGDP600兆円」「希望出生率1.8」「介護離職ゼロ」との3つの的に向け、新しい「二本の矢」を放つていくと明記。また、参議院選挙に向けての結束、「地方創生」の深化、「すべての女性が輝く社会」の実現、教育格差の解消、努力が報われる農林水産業の実現、防災・減災対策など国土強靱化等が謳われている。

農林水産業の実現に向けては、「TPPの影響による生産者の不安を払拭し、希望を持って生産に取り組めるよう方全を期すとともに、中山間地域を含む美しく活力ある農山漁村を守っていく。また、成長産業化に取り組み生産者がその力を最大限に発揮するため、攻めの農林水産業への施策の推進に全力を挙げる」としている。

また、「人材力を強化するシステムの整備、生産資材の価格形成の仕組みの見直し、生産者の所得向上に資する流通・加工構造の確立、基盤整備を円滑に行うための土地改良制度の在り方の見直し、戦略的輸出体制の整備、原料原産地表示などについて具体的内容を詰める」と記している。

安倍首相は演説の中で、アベノミクスの成果や夏の参議院選挙への結束などを訴えた。農林水産業については次のように言及した。

「3年前、党大会で私は、TPP交渉参加に当たって、日本の農林水産業を守ると約束した。この約束は必ず果たしていく」

「若い皆さんが、農業に夢や希望を託せる『農業新時代』を創り上げていく」